クラウドクレジット株式会社

2018 年 1 月 19 日

【為替ヘッジあり】カメルーン中小企業支援プロジェクト 8 号
運用レポート

表記ファンドはこのたび満期償還期日を迎えましたが、別途お知らせの通り、運用期間を延長させていただきます。そのうえで、現時点におけるファンドの運営状況をご連絡申し上げます。

出資金総額	:	JPY 50,220,000.-

===運用開始時の状況===

グループ会社貸付実行日	:	2016 年 11 月 30 日
グループ会社貸付金額	:	EUR 419,899.67
適用直物 EURJPY レート	:	119.60
適用先物 EURJPY レート	:	118.40
グループ会社貸付期間	:	2016 年 11 月 30 日から 2017 年 12 月 25 日
資金運用日数	:	390 日
グループ会社貸付金利（年利）	:	14.7%

===2017 年 12 月 25 日時点の状況===

予定グループ会社利息返済額	:	EUR 65,953.01
実現グループ会社利息返済額	:	EUR 65,953.01
未返済の利息額	:	EUR 0.00
予定グループ会社元本返済額	:	EUR 419,899.67
実現グループ会社元本返済額	:	EUR 79,984.13
未返済の元本額	:	EUR 339,915.54
グループ会社負担外為両替手数料	:	EUR 0.00
出資者返済原資	:	EUR 145,937.14
実現直物 EURJPY レート(注)	:	79.73
運用手数料	:	JPY 577,530.-
円貨換算出資者返済原資	:	JPY 11,058,526.-
ファンドの実現利回り	:	最終的な元利金償還を終えるまで未定
募集時期待利回り	:	12.5% (期間：2016 年 11 月 30 日～2017 年 12 月 31 日)

（注）2017 年 12 月期分配にかかる実現直物 EURJPY レートについて

本ファンドの返済原資であるグループ会社間ローン返済金額については、運用開始時において、ヘッジ相手先である MFX Solutions,Inc.（以下「MFX 社」といいます。）と上表に記載の適用先物 EURJPY レート 118.40 円/EUR（以下「運用開始時先物レート」といいます。)で為替予約を行い、トレードファイナンスの元本と利息が予定通りに返済される場合に、それを原資とするグループ会社間ローン返済金額の全額（ユーロ貨）を MFX 社に送金するとともに、運用開始時先物レートで当該ユーロ貨に相当する日本円を MFX 社から受領する予定でした。

しかしながら、本レポートでお伝えしております通り、一部のトレードファイナンスで支払遅延が生じ、また遅延していなかった回収金についてもカメルーンの現地パートナーである Ovamba Cameroon Solutions Sarl（以下「オバンバ社」といいます。）からエストニアグループ会社の貸付先であるモーリシャスの Pan Africa Investment Funding Limited PCC（オバンバ社のグループ会社、以下「モーリシャス会社」といいます。)を経てエストニアグループ会社に着金し、それをもって MFX 社に送金することを、2017 年 12 月中に完了できるかどうかが不確実な状態でありました。

MFX 社との契約に従い 2017 年 12 月中に為替予約したユーロ貨を送金するため、営業者（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）は一旦為替予約したユーロ額（EUR485,852.68）を直物レート（134.70 円/EUR）で調達して MFX 社に 12 月 27 日に立て替え送金いたしました。(立て替え額は銀行手数料 4,500 円込で 65,448,855 円）（A）

その後営業者は MFX 社から運用開始時先物レートで交換した日本円貨額（57,524,957 円）（B）を受け取りました。また営業者は 12 月 29 日にオバンバ社からモーリシャス会社を経由して入金した回収金を原資としたグループ会社貸付金の一部（EUR 145,937.14、交換レート 134.03 円/ユーロ、19,559,954 円）（C）をエストニアグループ会社から受け取りました。営業者は、MFX 社から受け取った 57,524,957 円（B）とエストニアグループ会社から受け取った 19,559,954 円（C）の合計額（77,084,911 円）から立て替えた 65,448,855 円（A）および運用手数料 577,530 円を控除した額（11,058,526 円）を「円貨換算出資者返済原資」といたしました。

そのような経緯で、ここでは実現直物 EURJPY レートを次のような算式で求めております。

（円貨換算出資者返済原資＋運用手数料：円貨額）/出資者返済原資：ユーロ貨額）

なお、本ファンドに係る為替ヘッジ取引は、その取引の期限である 12 月末の営業者による全額建て替え処理で完了しておりますので、今後カメルーンで回収が進みそれを元にグループ会社間ローン返済が行われる際には、その返済時の為替レートはその時点での直物レートが適用されることになります。（本報告時点では運用開始時先物レート（118.40 円/EUR）より円安ユーロ高の状況でありますので、その円安が継続している状態で、もしカメルーンで回収金が発生してグループ会社間ローン返済が行われてお客様に分配金が出る場合には、円安による為替差益が発生いたします。

また逆に、回収できた時期の為替レートが（118.40 円/EUR）よりも円高ユーロ安となった場合には為替差損が発生しますことをご了解願います。

運用者コメント

本ファンドは、エストニア子会社が投資家様からご出資いただいた資金で参加しているカメルーンのトレードファイナンス事業に延滞が生じ、ファンド帰属財産の全てを回収できていないことから、運用期間の延長をいたします。なお、オバンバ社から本営業者のエストニア子会社への未返済額は EUR 363,630.89 となっております。また、本営業者からエストニア子会社に貸し付けたローンの未返済元本は EUR 339,915.54 です。

オバンバ社によれば、本ファンドの資金需要者 13 社のうち 7 社は債務を完済したものの、残る 6 社（以下ここでは「A 社」～「F 社」とします）とのトレードファイナンス契約において債務の回収が完了しておりません。今後、各社が買戻しできなかった商品在庫等を市場売却することで未回収となっているトレードファイナンス残額の回収を図ってまいります。

一方で、かかる回収事業には一定の時間が必要になるため、本営業者であるクラウドクレジット株式会社は延長期間を 6 ヶ月、延長後の最終期を 2018 年 6 月期と決定しました。カメルーンでの回収事業が迅速に進み、すべての財産の回収が 2018 年 6 月より前の期に完了したときには、その期をもって本ファンドの運用を終了いたします。

個社の状況

（A 社）

事業内容：大型トラック用パーツの輸入及び販売

トレードファイナンスの全残存元本： EUR 22,900.76

うち当ファンド参加持ち分： EUR 3,816.80

トレードファイナンスの担保（商品在庫等）：トラック及び自動車用のスペアパーツ

担保価値の試算額 ： EUR 66,679.68

このたび A 社がトレードファイナンスの返済（買戻しの実行）を履行できなかったため、オバンバ社は担保の実行（商品在庫の売却）に向けた行動を開始しています。売却方法としては、オバンバ社がトラック・自動車を使用する企業と新規に取引を開始する際に取引パッケージに含めて行うほか、オンラインサイトなどの不特定多数に向けた販売チャネルの利用も検討しています。なお、パーツを売却する際には通常、買手は、パーツが真正である旨を確認するためにオバンバ社にいくつかの説明を求めることがあり、それらも勘案した売却期間として～5 ヶ月程度を想定しています。

（B 社）

事業内容：運送業

トレードファイナンスの全残存元本：EUR 64,122.13

うち当ファンド参加持ち分：EUR 10,687.02

トレードファイナンスの担保（商品在庫等）：自動車 4 台（うち SUV2 台、トラック 2 台）*

担保価値の試算額 ：EUR 114,336.76

(*オバンバ名義ではあるものの、現在までオバンバの管理下にない)

B 社は運送業者としてライセンスを取得し、現地で営業しています。B 社は自動車 4 台をオバンバ社に売却することでその売却代金を得て、後日買い戻す内容でトレードファイナンス契約を結んでおりました。しかしながら、B 社はオバンバ社から売却代金を受け取っていながら、いまだ自動車をオバンバ社に引き渡しておりません。また、B 社は今日までに一部の売却代金をオバンバ社に対して返済しているものの、その額は十分ではありません。

B 社は運送業者として営業を続けています。オバンバ社はその売上からの回収とともに、自動車を物理的に確保するための法的な手続きを開始しております。B 社がこのまま債務の不履行を継続する場合には運送業者のライセンスを失う蓋然性が相応にあり、それを防ぐためには債務の履行が必要なため、回収に対する懸念は少ないものと考えられます。

（C 社）

事業内容：EU に本拠を持つ、中古衣料品の輸入・販売

トレードファイナンスの全残存元本：EUR 53,435.11

うち当ファンド参加持ち分：EUR 19,083.97

トレードファイナンスの担保（商品在庫等）：コンテナ 4 台分の古着

担保価値の試算額　　：EUR 164,644.94

C 社が海外で購入してカメルーンへ輸入した中古衣料品が、管理状態が良くなかったこと等により商品たりうる水準になかったことから事業を圧迫し、支払が遅れています（通常であれば、カメルーンでは中古衣料品への需要があることから、仕入れた商品を市場で売却することは難しくありません。）。そんな中で、C 社は毎月いくばくかの返済を行っており、オバンバ社との間では、今後も毎月平均 EUR 150 程度の返済を買戻し代金全額の完済まで続けることを合意しています。

オバンバ社は、完済までの期間として 6 ヶ月程度を想定しています。

（D 社）

事業内容：日用品、オイル・ガス等多様な商品輸入・販売

トレードファイナンスの全残存元本：EUR 480,916.03

うち当ファンド参加持ち分：EUR 240,458.02

トレードファイナンスの担保（商品在庫等）：不動産

担保価値の試算額　　：EUR 762,245.09

D 社は、オバンバ社に対してオーナーの所有不動産を売却し、オバンバ社は、その売却代金の資金使途を D 社の石油及びガス輸送事業に必要な運転資金に限定していました。しかしながら、D 社はかかる資金をショッピングモールの建設に使用し、かつ、その建設に時間を要していることから、買戻代金の支払い遅延が生じています。なお、D 社はショッピングモールの建設に多大な資金を使用したために手元資金を用いて返済を行うことが困難な状況にあります。

確度の高い返済原資は開業後のショッピングモールから得られるテナント料等の収入であり、ショッピングモールの開業は 2018 年第一四半期中(1~3 月)が見込まれます。オバンバ社は、開業から支払い完了までの期間として 2～3 ヶ月を見込んでいます。

（E 社）

事業内容：チョコレート・マーガリンなどの製造・卸

トレードファイナンスの全残存元本：EUR 38,167.94

うち当ファンド参加持ち分：EUR 6,345.28

トレードファイナンスの担保（商品在庫等）：食品原材料

担保価値の試算額　　：EUR 76,224.51

E 社は、自社製品をカメルーン北部及び首都ドゥアラの小売店に卸していましたが、需要低迷とともに売上が顕著に減少したことなどから、2017 年に一旦製造ラインを停止し、一時的に売上がなくなりました。そのため買戻金の支払いができなくなりました。しかしながらその後 E 社は、2017 年中に新たな製造ライン責任者を雇用し、現時点では製造・卸を再開しています。

オバンバ社は、製品の原材料を担保として手元で管理するとともに、E 社の商品移送に同行して卸売代金を受け取ったそばから回収することで取り漏れをなくし、3 ヶ月程度での回収を見込んでいます。

（F 社）
事業内容：ガラスの輸入・販売
トレードファイナンスの全残存元本：EUR 39,755.73
うち当ファンド参加持ち分：EUR 19,877.86
商品在庫等の内容：ガラス
担保価値の試算額：売却済み（当初 EUR 228,673.53）

F 社は 2016 年 12 月、輸入したガラスの到着時期が遅れたことによって販売の時機を逃し、資金繰りが逼迫致しました。オバンバ社は F 社から直接返済を受けるとともに、F 社から購入したガラスを市場で売却することで資金の回収を進めておりましたが、現時点までで全額を回収することができていません。

オバンバ社は、自らが F 社から購入したものとは別に、F 社が在庫として所有するガラスを新たに差し押さえる等により、さらなる回収に向けた行動をとっておりますが、完了時期のめどは立っておりません。

本営業者は、カメルーンにおける財産の回収が完了するまで、オバンバ社と協力しながら投資家様の利益最大化を図ります。投資家のみなさまにおかれては、今後ともカメルーン中小企業支援プロジェクトへのご理解・ご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

＜会社概要（クラウドクレジット株式会社）＞
【代表者】杉山智行　【設立年月日】2013 年 1 月
【資本金等】1,100,917 万円　【URL】https://crowdcredit.jp/
第二種金融商品取引業
関東財務局長(金商)第 2809 号
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入